

総務文教常任委員会活動レポート

開催日時：令和4年6月24日(金)

開催場所：1・2号委員会室

総務部

1. 新型コロナウイルスへの対応について

「中標津町新型コロナウイルス感染症対策概要」により、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況を確認しながら、「コロナ禍における物価高騰から住民生活を守る緊急要望」に基づき、新たに創設された「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分）」の活用事例を参考に議論した結果、以下のとおり取り組むこととしました。

【活用提言】

- (1) 上下水道料金（基本料金）の減免
- (2) 給食費の賄材料費への充当
- (3) 子育て支援
 - ① オムツ・ミルク・離乳食の割引クーポン（無償）券の配布
 - ② 町有施設等屋外施設の親子割引（無償）券の配布

【継続審議】

- (1) 町内会コミュニティの確保の支援
 - ・ 町内会回覧板、役員連絡ツール、情報伝達のためのアプリの開発と運用など
- (2) 災害時における住民安否確認の表示物（掲示用タオル等）の配備
- (3) 引きこもり老人、独居老人の見守り支援（介護）

町民生活部

1. 女性の貧困対策（生理用品の配布状況）

厚生常任委員会に報告した8月24日から3月9日までの実施内容及び実績について説明を受け、今後も継続していく旨の報告がありました。

- (1) 配布対象者：小学生・中学生・高校生・支援学校生徒
- (2) 配布窓口：小学校・中学校・高校・児童館
- (3) 配布方法：学校 保護者宛通知文・保健室で希望者に配布
児童館 トイレにポスター・希望者に指導員から配布
- (4) 配布物：防災用備蓄ナプキン 550パック分（1パック30個入り）
- (5) 実績：41件34人

【主な質疑】

委員：複数回利用した者からの理由の聞き取り結果が、いずれも「忘れた」とありますが、そう言わざるを得ない状況が家庭内にあったとしたら、保護者からの配慮が得られない児童生徒がいないとの判断では片付けられないと思われま

担当：今後も聞き取りを継続していきます。

委員：防災備蓄品から提供された生理用品がなくなったらどうしますか？

担当：在庫が十分あり、なくなる前までに判断していきます。

委員：保護者から十分な生理用品が与えられていない児童生徒が一人でもいれば、手を差し伸べる対応をお願いします。今回は、たまたま防災備蓄品が利用できましたが、町として予算付けし継続して行ってください。その財源として、コロナ対応の交付金を活用する考えはないのでしょうか？

担当：十分な在庫もあり、3月9日以降は、児童生徒の利用希望がない状況です。現状では追加の購入などは考えていません。

委員：大人の方への対応も検討することとなっていたと思いますがいかがでしょうか？

担当：子どもたちを最優先に行う事業として始めていることから、当分はこのままでいきたいと思